

平成29年度9月補正予算案



平成29年度9月補正予算案の主要項目

1 北陸新幹線開業に向けたまちづくり（市事業への補助）

- ・ 福井駅にゆとりを持たせる東口の拡張施設の整備
- ・ 南越駅（仮称）と敦賀駅における駅前広場などの周辺整備
- ・ 福井駅前における市街地再開発に向けた基本計画の作成に対する支援

2 県内企業のIoT・AI等導入の促進

- ・ 生産性を高めるためのIoT・AI等を導入する企業への補助
- ・ シニアと女性を対象とした就業意欲を高めるセミナーの開催

3 国の重要無形文化財への指定に伴う支援

- ・ 越前和紙「越前鳥の子紙」の技術伝承のための研修活動等に対し、国の事業と合わせて支援

4 公共事業の増額

- ・ 福井森田丸岡線における新九頭竜橋の橋梁整備など、国の内示に伴う公共事業の増

平成29年度9月補正予算案の規模

一般会計の9月補正予算の規模

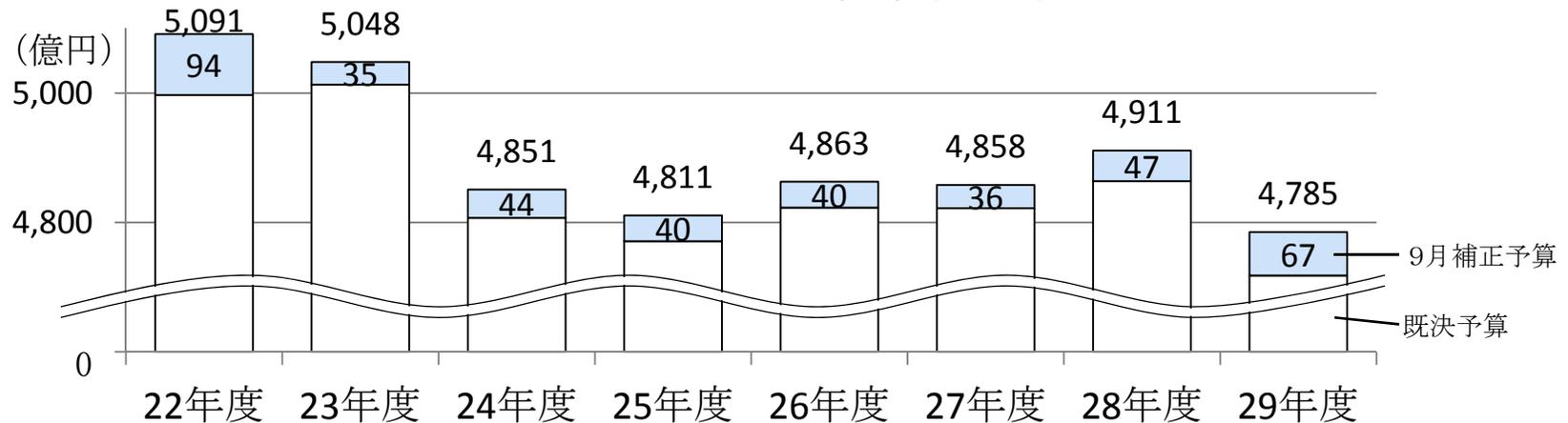
67億円

この結果、一般会計の予算現計

4,785億円 (対前年度比△2.6%)

| 会計 | 29年度 | | | 28年度 9月現計 (億円) ② | 伸び率 (%) ①/② |
|------|--------------|--------------|---------------|---------------------------|-------------------|
| | 当初予算 (億円) | 9月補正 (億円) | 9月現計 (億円)① | | |
| 一般会計 | 4,718 | 67 | 4,785 | 4,911 | △2.6 |
| 特別会計 | 181 | 1 | 182 | 152 | 19.6 |
| 企業会計 | 362 | — | 362 | 369 | △1.9 |
| 計 | 5,261 | 68 | 5,329 | 5,432 | △1.9 |

一般会計の9月補正予算規模の推移



※25年度 追加補正117億円(台風18号関係)を除く

1 北陸新幹線開業に向けたまちづくり

北陸新幹線福井駅(東口)拡張施設整備事業 (6.5百万円) 【主要事業P3】

○福井駅を県都の駅にふさわしい、ゆとりある駅とするため、福井市が行う東口の拡張施設の整備を支援

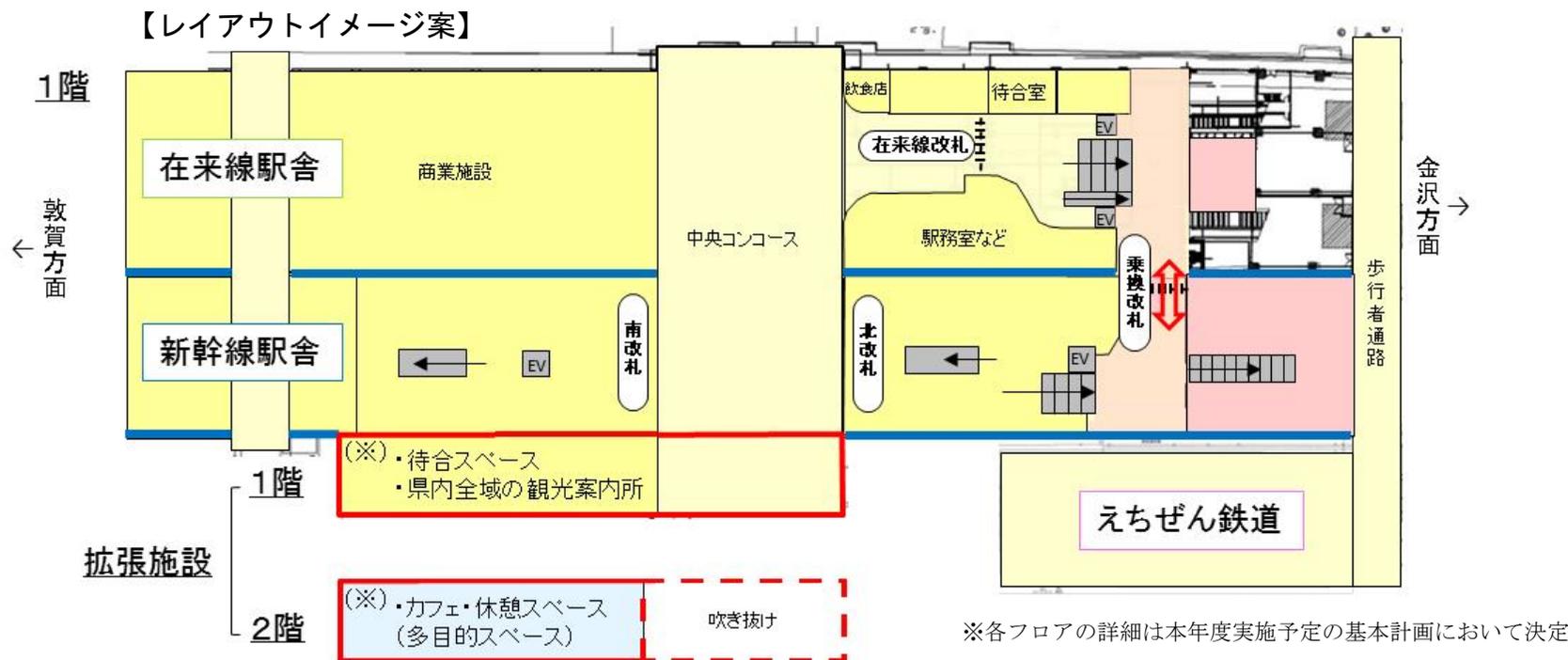
支援内容

施設概要 待合スペース、県内全域の情報を発信する観光案内所、多目的スペース

事業内容 基本設計 [建物構造、外観、レイアウトの検討、パース図の作成等]

事業費 1,300万円

補助率 県1/2 (福井市1/2)



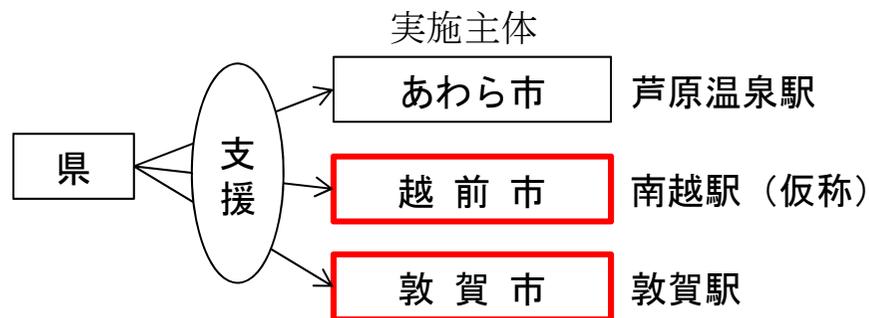
北陸新幹線三駅周辺整備推進事業 (73百万円) 【主要事業P3】

制度概要 (28年9月補正予算において制度創設)

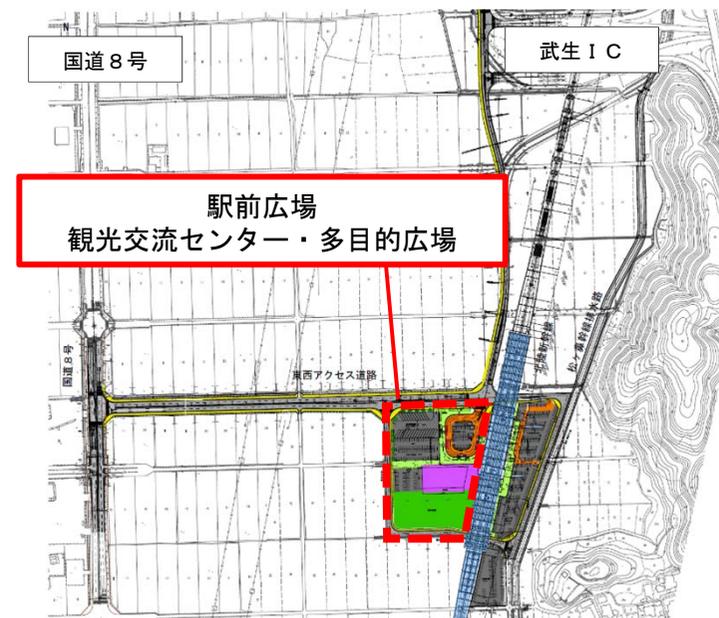
趣 旨 広域的な交通の拠点となり、福井県の第一印象を向上させる新幹線駅の周辺整備を支援

事業期間 29～34年度

上限額 1市あたり3億円 (国の支援を除く市負担分の1/2)



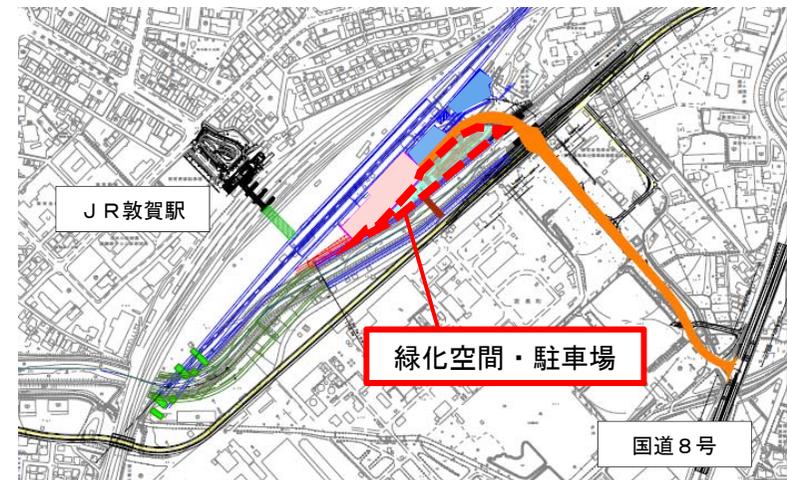
※あわら市に対する支援は、30年度以降の予算計上を予定



【南越駅(仮称)位置図】

29年度(初年度)の支援内容

| 整備駅 | 実施主体 | 補助内容 | 補助額 (千円) |
|-------------|------|----------------------------|-------------|
| 南越駅 (仮称) | 越前市 | 用地取得 (駅前広場、観光交流センター・多目的広場) | 71,685 |
| 敦賀駅 | 敦賀市 | 基本設計 (緑化空間・駐車場) | 1,620 |



【敦賀駅位置図】

福井駅前市街地再開発準備支援事業（3.5百万円）【主要事業P3】

○再開発準備組合（8月29日設立）に対して補助を行う福井市を支援

支援内容

事業内容 都市計画決定に向けた基本計画の作成

事業費 2,100万円

補助対象 福井市

負担割合 県1/6（国1/3 福井市1/6 組合1/3）

○再開発検討地区



【中央大通り側】



【電車通り側】

2 県内企業のIoT・AI等導入の促進

IoT・AI等導入促進事業（18百万円）【主要事業P2】

制度融資 IoT・AI等導入支援資金の創設（制度創設）【主要事業P2】

○中小企業の人手不足解消のため、IoT・AI等の導入を支援し、業務効率化による生産性向上および新たな付加価値の創造を促進

【IoTワークショップ】

導入にかかる具体的な課題を整理し、解決を図るためのワークショップの開催
（対象者：IoT導入を検討する中小企業 30社程度）

【企業への補助制度を創設】

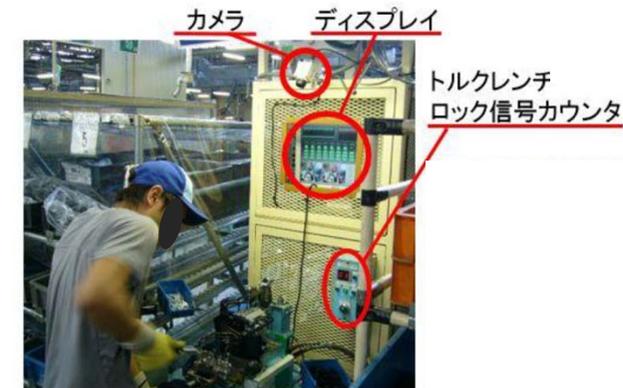
補助金総額 1,600万円

| 補助メニュー | 補助対象事業 | 補助率 | 補助上限額 |
|---------------------|----------------------------|-----|---------|
| 「身の丈IoT」チャレンジ枠 | 業務効率化のための簡易なIoT機器の整備 | 1/2 | 100万円 |
| 「つながる工場・店舗」IoT活用実証枠 | 取引のある複数企業をつなぐIoT機器の整備 | 2/3 | 300万円 |
| AI等活用先進型モデル枠 | 新商品・サービス等の創出のための先進的なAI等の導入 | 1/2 | 1,000万円 |

【IoT・AI等導入支援資金（制度融資）を創設】

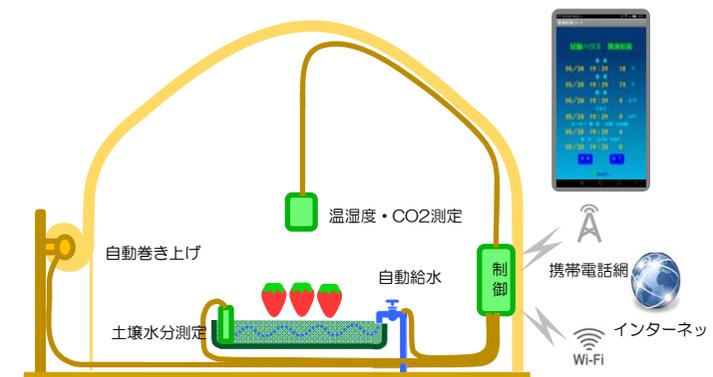
金融機関との協調による実質無利子の融資制度の新設

【センサーなどを活用した業務効率化】



（取り付けられたカメラにより、作業内容を確認し、作業中のミスを減少させることによる、後戻り工程の発生防止）

【スマート農業サービス】



（ビニールハウス内の温度、湿度等のデータから、自動給水・カーテンの巻き上げが可能）

シニアと女性の活躍支援事業（6百万円）【主要事業P2】

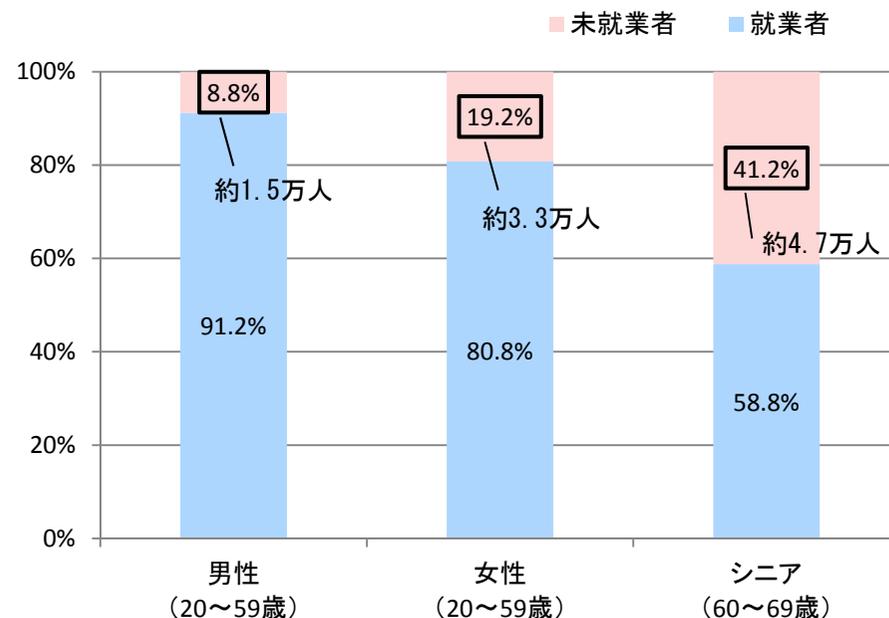
○シニアと女性の就業意欲を喚起し、企業の人材確保を支援

【県内就業状況】

- ・ 老後の安定した生活や子どもの学費負担等をテーマとしたライフプランセミナーの開催
- ・ 企業とのマッチングを行う就職面接会の開催



ふくいジョブカフェへの委託



| | シニア | 女性 |
|----------|---|---|
| 実施回数 | 12回 (県内6地域 各2回) | 6回 (県内6地域 各1回) |
| 主なセミナー内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 年金収入と費用を考えた働き方 ・ 健康維持の最善策は働くこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもにかかる学費と就労の意義 ・ 親の介護と仕事の両立 |
| 面接会参加企業 | 140社程度 | 70社程度 |

研究開発プロフェッショナル人材設置事業（20百万円）【主要事業P2】

○県外の高度な専門性を有する人材を、県内の研究開発プロジェクトに呼び込み、企業のレベルアップを促進

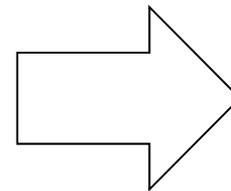
誘致体制

- ・大手企業の人材と県内企業のマッチングを行うコーディネーターを「ふくいオープンイノベーション推進機構」に新たに設置

情報発信

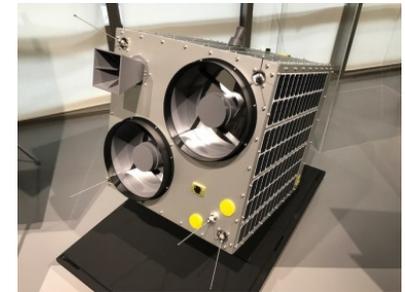
- ・求人情報サイトにおける主要プロジェクト等のPR
- ・研究開発プロジェクトを紹介するセミナー・県内ツアーの開催

研究開発プロジェクトを進める企業のレベルアップ



転職・出向・兼業・副業・共同研究 等

<主なプロジェクト>



県民衛星の設計・製造等



炭素繊維複合材料を用いた老朽橋梁の補強技術開発

3 国の重要無形文化財への指定に伴う支援

重要無形文化財伝承活動支援事業（事業費総額10百万円）【主要事業P4】

○重要無形文化財としての越前和紙「越前鳥の子紙」の技術伝承のための研修活動等に対して国の「無形文化財の伝承・公開事業」と合わせて支援（県予算額33万円）

活動内容

- ・紙漉きに関連する各工程（皮こき、^{ちり}塵より、^{こうかい}叩解、紙漉き、乾燥等）の技術研修
- ・原料となる雁皮の^{がんび}植樹や栽培
- ・紙漉き用具製作技術に関する研修
- ・研修用備品の整備 等

伝承者の養成

文化財の保護

活動例（皮こき研修）



活動例（^{ちり}塵より・^{こうかい}叩解研修）



活動例（紙漉き研修）



4 公共事業の増額

国の内示に伴う補正 (5,753百万円) 【主要事業P5】

道路・街路事業 (4,725百万円)

○福井森田丸岡線

(新九頭竜橋など 1,106百万円)



○清水美山線

(半田踏切 521百万円)



○国道158号

(境寺計石バイパス 408百万円)

○インフラ補修

(橋梁、トンネルなどの補修・点検 1,461百万円)

河川・砂防事業 (700百万円)

○吉野瀬川ダム (付替道路 178百万円)



国直轄事業負担金 (223百万円)

○中部縦貫自動車道整備事業 (156百万円：事業費639百万円)



【荒島第1トンネル(仮称)付近(大野市下唯野)】



【白谷川橋(仮称)付近(大野市西勝原)】